



はじめに

平素より地域の感染症対策に御協力いただきありがとうございます。
 医療機関向け情報には **医** を、一般施設向け情報には **全** をつけています。
 原則毎月第2・4木曜日に配信し、新たな通知や感染症情報等がある場合、隨時臨時号を配信いたします。
 全数報告：第50週～51週(12/8～12/21) 定点報告：第47～51週(11/17～12/21)

全数報告疾患情報

医

市川保健所管内で報告のあった疾患のみ掲載しています

※定点報告疾患については、第47週～第51週のグラフを別添しております

2類感染症	50～51週	累計（年）
結核	5	118

5類感染症	50～51週	累計（年）
百日咳	2	165
侵襲性肺炎球菌感染症	1	18
梅毒	1	30
後天性免疫不全症候群 (HIV感染症を含む)	1	12
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	10

発生動向トピックス

TOPICS 1 ➤ 年末年始の旅行は感染症に注意！

医 **全**

今後、年末年始を控え、人の移動が増加することが予想されます。冬季は感染症が流行しやすい季節であるため、注意が必要です。

また、海外においては、国内では見られない感染症が流行していることがあり、海外滞在中に感染する可能性があります。年末年始に海外へ渡航する際には、事前に渡航先における感染症の流行状況、現地滞在中の注意点、海外渡航に際し推奨されている予防接種を御確認ください。

感染症には、潜伏期間（感染してから発症するまでの期間）が数日から1週間以上と長いものもあり、渡航中や帰国直後に症状がなくても、しばらくしてから発熱、発疹、下痢等症状が出現する場合があります。その場合は、**医療機関に事前に電話連絡して海外渡航歴があることを伝えた上で受診しましょう。**

✓ 旅行前チェックリスト

- これまでに受けた予防接種歴を母子手帳で確認
- 渡航先の感染症流行状況を確認

➡ 外務省海外安全ページ <https://www.anzen.mofa.go.jp/>



旅行中チェックリスト



水・食べ物に注意

水や食べ物を介して食中毒の原因となるものが口に入り、様々な病気を引き起こす可能性があるため、旅行先では水や食べ物に注意が必要です。水や食べ物を介して感染する感染症は、**腸管出血性大腸菌感染症**や**腸チフス**、**A型肝炎**等があります。

- 食事は十分に火が通っているものを温かいうちに食べましょう
- 生水・氷・生の魚介類・カットフルーツ・生肉・生焼けの肉の喫食は避けましょう

⚠️ 生肉に注意

海外でも生肉を食べることにより、重篤な食中毒（腸管出血性大腸菌O157等）になるリスクがあります！

旅先で加熱不十分な肉の喫食はやめましょう

厚生労働省



虫に注意

虫に刺されたり、咬まれたりすることで感染する感染症として、**デング熱**や**マラリア**、**ダニ媒介脳炎**や**ライム病**、**重症熱性血小板減少症候群(SFTS)**等があります。国内外問わず、虫がいる草原や森林地帯などの散策は避ける等、虫除け対策をすることが大切です。

- 長袖の服等を着用し肌の露出を避けましょう
- サンダルではなく靴を着用しましょう
- 虫よけスプレーを使用しましょう



動物に注意

現地の動物は重篤な感染症の原因となる病原体を持っている可能性があります。動物を介した感染症には**狂犬病**や**鳥インフルエンザ**などのウイルスなどがあります。中東諸国へ旅行する際は、ヒトコブラクダとの接触（**中東呼吸器症候群（MERS）** 感染リスクあり）に御注意ください。現地では、むやみに動物に近づかず、触れないようにしましょう。

- 現地の動物は触らないようにしましょう



旅行後チェックリスト

空港や港の検疫所で健康相談ができますので、健康が心配なことがあれば、検疫官に相談しましょう。感染症の潜伏期間は数日から1週間以上の場合もあります。帰国後に具合が悪くなったら、医療機関を受診しましょう。

- 医療機関を受診した際は、渡航先、滞在期間、現地での飲食や活動内容、動物との接触、ワクチン接種歴を伝えましょう

2025年に県内医療機関から届出のあった感染症のうち、推定される感染地域が海外であった感染症は次のとおりです(下表)。感染症対策を徹底し、健康を守りながら安心して年末年始の旅行を楽しみましょう！

表 2025年に県内医療機関から届出のあった海外で感染した可能性のある感染症（2025年第50週時点）

感染症名	全届出数	うち推定感染地域に海外を含む届出数*	記載のあった海外の地域
結核	794	127	アジア、中南米、中東、アフリカ
腸管出血性大腸菌感染症	196	20	アジア、欧州
腸チフス	4	2	アジア
パラチフス	1	1	アジア
E型肝炎	42	1	アジア
A型肝炎	7	2	アジア、中東
コクシジオイデス症	5	5	北米
ジカウイルス感染症	1	1	アジア
チクングニア熱	4	4	アジア
デング熱	6	6	アジア
マラリア	1	1	アフリカ
レプトスピラ症	1	1	アジア
アメーバ赤痢	21	1	アジア
急性脳炎	69	2	アジア
後天性免疫不全症候群	36	3	アジア
侵襲性髄膜炎菌感染症	3	1	アジア
侵襲性肺炎球菌感染症	156	1	北米
水痘（入院例に限る。）	27	1	アジア
梅毒	428	4	アジア
百日咳	3553	3	アジア、北米
麻しん	22	4	アジア

*推定感染地域に国内及び国外の両方の記載がある届出を含む

【参考】厚労省「海外へ渡航される皆様へ」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekaku-kansenshou18/index_00003.html

【参考】FORTH「海外へ渡航される皆さまへ！」

https://www.forth.go.jp/news/20220722_00001.html

【参考】FORTH「海外での食べ物にご注意ください！」

https://www.forth.go.jp/news/20241101_00001.html

【参考】政府広報オンライン「海外旅行を安全・健康に楽しむために必要な準備と知識」

<https://www.gov-online.go.jp/article/202412/entry-6907.html>

【参考】千葉県感染症センター「2025年第50週（2025年12月から2025年12月14日）」

<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/wr2550.pdf>

TOPICS 2

感染性胃腸炎の集団発生報告が頻発しています！

市川保健所管内において感染性胃腸炎の集団発生報告が2025年第50週に1件、第51週に3件報告がありました。これから流行時期を迎えるにあたり、感染拡大を防ぐために、施設や家庭での感染対策を再度確認することが重要です。感染性胃腸炎は主にノロウイルスやロタウイルスが原因となり、冬季に流行しやすい感染症です。特に保育園や学校、高齢者施設では集団発生のリスクが高まります。



石鹼と流水による手洗いの徹底



感染性廃棄物の適切な取り扱い



環境消毒



健康観察の徹底

次亜塩素酸ナトリウムで消毒しましょう！



感染性胃腸炎の集団発生が続いている現状を踏まえ、流行を防ぐために手洗いや消毒などの基本的な感染対策を改めて確認してください。流行時期は、少人数の発生であっても迅速に対応を切り替えましょう。

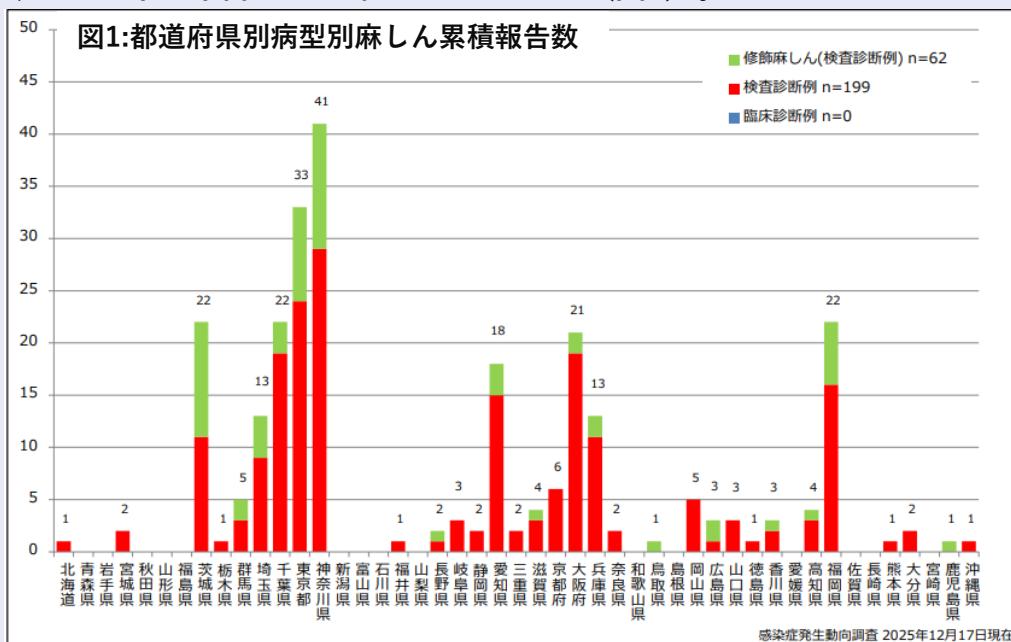
【参考】千葉県「2025/26シーズン 千葉県の感染性胃腸炎発生状況 2025年51週」

<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202551/gastro.pdf>

【参考】こども家庭局「保健所における感染症対策ガイドライン（2023年5月一部改訂）」

https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/e4b817c9-5282-4ccc-b0d5-ce15d7b5018c/d557529d/20230401_policies_hoiku_15.pdf

千葉県では、2025年第51週に届出はなく、2025年の累計は22例でした。
全国では、2025年第50週に愛知県及び岡山県で各2例、東京都で1例の計5例の届出があり、2025年の累計は261例となりました（図1）。



【参考】千葉県感染症情報センター「千葉県の麻しん発生状況(2025年51週)」
<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202551measles.pdf>

【参考】JHIS「麻疹発生動向調査 2025年第50週」
<https://id-info.jhs.go.jp/relevant/vaccine/measles/060/meas25-50.pdf>

インフルエンザ 感染症

⚠ インフルエンザ警報発令中 ⚠

—— 定点医療機関における感染者数の報告は減少傾向です

市川保健所管内インフルエンザ発生状況（人）

	A型	B型	A+B型	AorB型※	臨床診断
報告数	452	11	1	0	22

※型非鑑別キット

(医療機関からの型報告なく不明な 135 例を除く)

第51週の千葉県全体の定点当たり報告数は、29.37(人)でした(図1)。市川管内の報告数は、18.18(人)でした(図2)。

第51週に千葉県内で報告のあった4,805例のうち、A型4,617例(96.1%)、B型132例(2.7%)であり、A型が多い状況です。

感染対策

- ①手洗い・手指衛生
- ②マスクの着用・咳エチケット
- ③室内の換気 ④室内の湿度の保持
- ⑤人込みを避ける ⑥ワクチン接種

2025年第50週から第51週における定点各医療機関からのインフルエンザ報告数をまとめた表です

図1

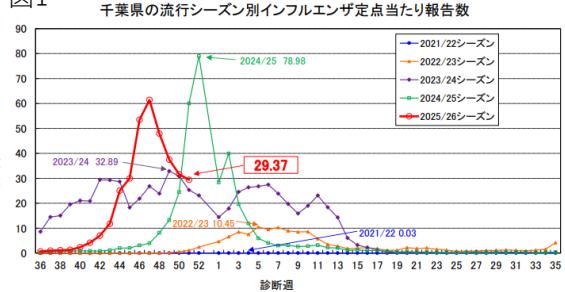
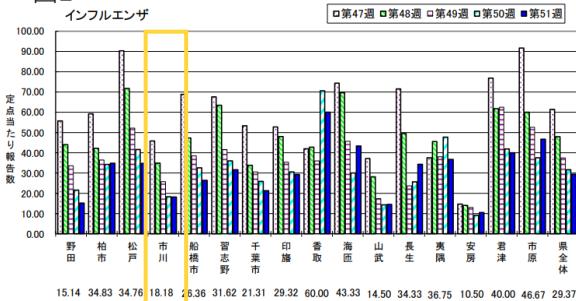


図2



【参考】千葉県感染症情報センター

<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202551influenza.pdf>

【参考】厚生労働省「令和7年度急性呼吸器感染症(ARI)総合対策に関するQ&A」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou_kekkaku-kansenshou/influenza/QA2025.html

定点医療機関による感染者数の報告は減少傾向です

第51週の千葉県全体の定点当たり報告数は、0.91(人)でした(図1)。報告数が多かった地域は、長生(2.00)、船橋市(1.64)、香取(1.40)保健所管内でした。

市川保健所管内の報告数は、前週から増加し、0.29(人)となっています(図2)。

感染
対策

インフルエンザを予防する方法と同様です

【参考】千葉県感染症情報センター

<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202551covid19.pdf>

【参考】千葉県:新型コロナウイルス感染症について

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/kansenshou/ncov/covid19-chiba-index.html>

図1 千葉県の年別新型コロナウイルス感染症定点当たり報告数

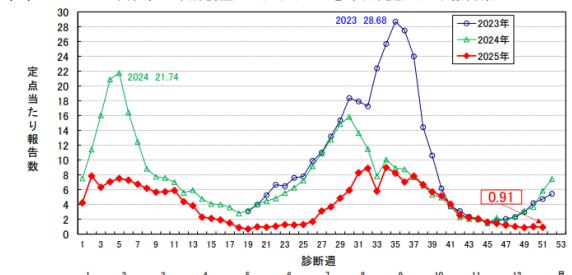
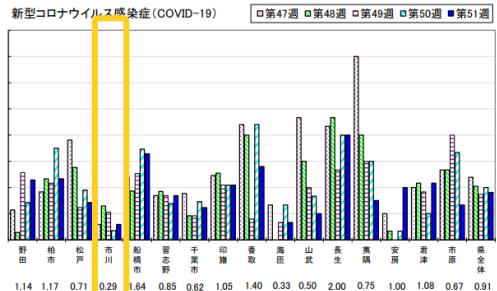


図2



お知らせ



医 全

- 【医療機関の皆様へ】1~4類感染症及び5類感染症の一部(麻しん・風しん・侵襲性髄膜炎菌感染症)の発生届を御提出いただく際は、発生届(オンライン・FAX等)の御提出と併せて保健所までお電話をお願いいたします。なお、閉庁時であっても速やかに保健所へお電話いただきますようお願い申し上げます
- 令和7年12月27日から令和8年1月4日までは閉庁期間です。
※閉庁日にお電話いただいた場合、「千葉県保健所夜間休日受付センター」の連絡先のアナウンスが流れますので、当該センターに御連絡をお願いいたします。



◆◆感染症法に基づく 医師の届出ハンドブック

https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/pamphlet_A4.pdf

- 登録アドレスの廃止、変更等は下記アドレスまで御連絡をお願いします。
- いちうら感染症情報は、毎月第2・4木曜日を配信予定としていますが、事情により配信が遅れる場合があることを御了承ください。
- いちうら感染症情報の内容は主に公的機関の情報を基に作成し、できる限り最新で正確な情報発信に努めておりますが、各登録機関の責任において御利用ください。
- また、メールの安全性についても千葉県の情報セキュリティ対策により安全性の確保を図っておりますが、各登録機関におかれましてもセキュリティ等の注意をお願いいたします。

配
信
元

千葉県市川健康福祉センター
(市川保健所)
いちうら感染症情報
ichiurainf@pref.chiba.lg.jp